

平成22年12月定例会



平成22年第7回定例会は、11月30日から12月17日までの会期18日間で開かれました。
 総額約44億600万円の一般会計補正予算案や福山市図書館条例の一部改正案など54議案を原案どおり可決しました。
 また、請願2件のうち1件は不採択、残る1件は継続審査となったほか、人権擁護委員の候補者を推薦することについて同意しました。
 この定例会では、各会派を代表して議員6人と、無所属の議員のうち1人が市政全般について質問しました。
 その概要は、次のとおりです。

新春のごあいさつ



議長
徳山 威雄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

福山市は、現下の厳しい財政環境のもと、将来にわたる持続的発展を図るため、都市基盤整備や地球温暖化対策、地産地消の推進などの今日的課題への対

応とともに、備後の中核都市にふさわしい拠点性と求心力のあるまちづくりを進めています。

市議会では現在、議会のあり方を明文化した議会基本条例の制定に向け、特別委員会において議論を重ねています。今後は議会基本条例の早期制定に努めるとともに、市政へのチェック機能を確実に果たしながら、市民の皆さまに分かりやすい、開かれた議会をめざしてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※質問および答弁(要旨)

水曜会

五阿彌 寛之 議員

協働のまちづくりの成果と課題は

問 協働のまちづくりは今年で5年目を迎えたが、成果と課題は。

答 地域では、学区まちづくり推進委員会を中心に、地域課題の解決や活性化に取り組んでいる。ボランティア・NPO等では、団体を持つ専門性を生かした活動を実施し、自主・自立のまちづくりの実現に向け成果が挙がっている。課題としては、役員の高齢化・固定化などによる担い手不足がある。

引き続き、市民の方々がまちづくりの主人公として力が発揮できる施策を推進する。

◇関連質問
 ・協働のまちづくりについて
 (無所属)

本市の児童・生徒の学力は

問 22年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の分析結果の内容と、今後の対策は。

答 小学校は、国語は0.8ポイント、算数は0.2ポイント、それぞれ県平均を下回る結果だがおおむね定着しているととらえている。中学校も、国語、数学、英語とも県平均を下回っているが、3教科合計点の県との差は縮まっている。今後とも、授業改善サイクルを全校に普及するとともに、校区内の小中連携を強めた家庭学習の取り組みを引き続き推進する。

◇関連質問

- ・小中一貫教育を含めた小中学校教育のあり方 (市民連合)
- ・中学校の学力向上策について (新政クラブ)

※この号から「質問および答弁(要旨)」は会派ごとにまとめ、併せて質問者の名前を掲載しています。